

川の戦（堀田章左右）は兵庫、湊川、生田森の戦を述べ、楠公、崇
 拜に就きて（三上参次）は楠公に關する系圖古文書に觸物多きは
 公が追慕さるゝ事の大なりしを示すものにして其後世より崇拜さ
 るゝに至りしは太平記の流行興りて力あり、而して楠公に對する
 批評は時代によりて變遷ある事を指摘し、瀬戸内海（内田銀藏）
 は瀬戸内海の範圍に廣狹二義ある事を注意して日本文明と瀬戸内
 海との關係を考察し、兵庫灣の研究（三浦周行）は兵庫が天然の
 形勝にありし外に人為的設備修築の加へられし事より、福原選部
 は政治都市として不適當なる事を明かにせしも、商業都市として
 の價值は毫も減ぜずして中世に於ける交通上の要衝に當り、關稅
 の收入の莫大なりしが、應仁文明亂以來、政治上軍事上の原因に
 よりて其地位を堺港に譲れるを説き、攝防備史（藤井甚太郎）
 は寶永鎮國令は紙上鎮國に過ぎざりしが如何にして武備鎮國にな
 りしかを説き、國防地帯は四大區に分ちて見るべく、其攝海は嘉
 永安政に着手せりとして安政元年露艦攝海來船前及び文久年間に
 於ける攝海防備、元治元年攝海防禦指揮として徳川慶喜の就任を
 述ぶ。兵庫開港（岡部精一）は開港談判の發端に筆を起し、大阪
 江戸の兩都及び新潟、兵庫の兩港の開市延期横濱開港を説き、
 兵庫開港の勅許を述ぶ。外に附録として、三島地方の古戦、難波の
 京、及び鳴島地方の古代（以上喜田貞吉）あり、數葉の口繪と挿

圖とを收む。たゞ攝津地方の地圖なきは惜むべし。菊版五一、四頁
 （仁友社發行、定價二、八〇）

●日本法制史書目解題 一冊 池邊義象編

本書は上篇、主要法令書目、中篇、一般參考書目、下篇は部分參考書に分ち
 それ／＼參考書目を挙げ或は解題をなし、或は其の書の目次を示
 し或は又法令の項文を收めて八百餘頁の大冊をなせるも、目録を
 舉ぐるに一項一行を充つる爲め每頁餘白多し、例せば新編追加
 建武以來追加の目録のみに四十三頁を費したるが如き他所記述と
 綴比して煩簡厚薄所を得ざる感なしとせず、又御成敗式目の項中
 に、附、建久以後の宣旨として、三代制符、公家新制等を收めた
 るが如きも、我法制史研究の基礎をなす公家法と武家法とを混同
 せるものにして初學者を誤らしむる恐なしとせず。更に本書の書
 目索引を掲げる事も此種の著書として最も大なる缺點たるべく、
 其他の点につきても著者十年苦心の成果なりといふに於て吾人の
 期待を裏切ること多し（大鐘閣發行、價四、五〇）（以上中村）

●新庄古老覺書 一冊 菅葉金太郎校訂

本書は出羽最上郡の新庄に關する唯一最良の史編にして、而
 も傳寫極めて希れるもの、今舊藩主戸澤子爵家の出資により、
 同地出身の國史專攻の文學士菅葉金太郎氏が苦心の校訂を経て刊
 行されたるものなり。新庄古老覺書は、參訂者の考定によつて、

凡そ享保十三四年頃の編述に係るものなるを知り、且つ著者は、同藩士田口五左衛門真純にして、諸種の舊記雜史家記の類より、老人口稱の史話をも沮く纂輯し、又自家の見聞を合せて隨筆的に書き綴れるものなるを明らかにし得たり。本書は、參訂に際して新庄に關係無き煩小の事實を削除したるを以て、郷土に關するもの多きは言ふに須ひされども、本書記事は近世に於ける藩政の研究社會の狀況、世風俗の變移等に就て考ふる諸種の資料を含み見聞談話の間に於ても、吉良上野介邸打入當時の談話、江戸城普請等諸種の趣味ある記事あるは喜ぶべし、尙附録として仙北地方雜纂、田中宗親書上を載せたり。(非賣品、戸澤家藏版)(西田)

●滿蒙新覽 三冊

福昌公司部調査編纂

本書は上中下三冊三千七百頁の尠大なるものにして、大連なる福昌公司が邦人をして滿洲蒙古に關する普遍的智識を獲得せしめむとの意より調査部を設置して調査編纂せしめたるものなり。其の内容は滿蒙に於ける遠き過去より現在に及び博く搜りて有ゆる社會現象を集成したるものにして、關東都督府南滿鐵道株式會社の調査報告並に専門大家の論著、學術雜誌新聞に出てたるものなり、參考に供したりと云ふ。卷を分つこと五、章を立つること三十、第一卷は滿蒙の沿革を歴史的に叙述し、第二第三卷は滿洲の現状を述べ、第四第五卷は滿蒙の生産力に就て論じれば滿蒙開

發經營の機運盛なるの今日、此の方面に志あるもの、一讀すべき好參考書なり。(大阪屋號書店發行 價二五、〇〇)

●廣倉學究叢書甲類第一、二集 二冊

本書は倉聖明智大學の刊行に係り主として支那歴史に關する支那人最近の研究論著及び永樂大典本等より得たる貴重なる史料を集む尤も其の大部分は嘗て雜誌學術叢編に掲げられたりと雖も斯く叢書として刊行せられたるは便利なりと謂ふべし。今其の目次と著者を列舉せむに。第一集は敦煌古寫本周易王注校勘記(羅振玉) 周易顧命禮徵(王國維) 周書顧命後考(同) 樂詩考略(同) 禮禮權(同) 五宗國說(萬光泰) 韓氏三禮圖說(元韓信同) 爾雅草木蟲魚獸釋例(王國維) 蒙雅(魏源) 釋史考(王國維) 毛公鼎銘考釋(同) 史籀篇叙錄(同) 倉頡篇殘簡考釋(羅振玉) 漢代古文考(王國維) 魏石經考(同) 小學叢殘四種。事文考略(宋經翁) 流沙壁簡考釋補正(王國維) 魏漢博士考(同) 秘書監志。大元馬政記。隨志。都て二十五種四十六卷、第二集は廣雅疏證補正(王念孫) 江氏音樂叙錄(江有誥) 古韻總論(同) 諸聲表(同) 入聲表(同) 唐韻四聲正同。西周金石文韻讀(王國維) 唐韻別考(同) 音韻餘說(同) 操風琅錄(劉家謀) 殷卜辭中所見先公王考(王國維) 同續考(同) 殷周制度論(同) 古本竹書紀年輯校(同) 今本竹書紀年疏證(同) 太史公繫年考略(同) 宋史忠義傳王稟補傳(同) 清眞先生遺事(同) 元高